



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 救急科・救命救急センター 関口 萌

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 救急科 関口 萌

# ICU ダイアリー受け渡しの成否に関連する因子の研究

## 1.研究の対象

2014年1月から2023年6月までに当院のCCM病棟にて入院された方とご家族

## 2.研究の目的・方法

近年、医学の発展による救命率の向上と引き換えに、集中治療室から退室した後の合併症に苦しむ患者さんが多数存在しています。近年、PICS(Post Intensive Care Syndrome：集中治療後症候群)という概念が注目されており、集中治療室在室中あるいは退室後に患者さんやご家族に新規もしくは継続的に発症する身体面・精神面・認知面の機能障害を指します。PICSは集中治療室に入室された患者さんの50～70%に発症すると報告されており、一度発症すると自然経過では完全な回復が難しいことから予防や早期介入が必要となります。その予防の1つとしてICUダイアリーが使用されており、当院でも当初看護師によりICUダイアリーの作成、患者さんご家族への受け渡しが行われていました。しかし、作成する一方、お渡しできない事例も多く、PICS予防として十分には機能出来ておりませんでした。のちに現在の多職種によるPICSチームが発足し、徐々に患者さんご家族への受け渡し率の向上を認めています。

今回、看護師PICSチームから多職種PICSチームへの介入と変わった前後でのICUダイアリー受け渡し数の変化の調査、また受け渡し成否に関連した因子の検討することを目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年12月31日までの予定です。

該当データの利用開始は、2023年8月18日を予定しております。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 診療情報：診断名、年齢、性別、検査結果(血液検査、画像検査)、入院期間、集中治療室入室後経過、転帰等

《試料》 なし